

2017年3月期 2Q決算説明資料

2016年11月4日

株式会社ラック
経営企画管理部 IR広報室

1. 中期経営計画『TRY 2021 ステージ1』 における位置づけ

2. 2017年3月期 2Q決算概要

3. 2017年3月期 連結業績予想

5月11日公表の連結業績予想から変更ありません

1.中期経営計画『TRY 2021 ステージ1』における位置づけ



1.中期経営計画『TRY 2021 ステージ1』における位置づけ

売上高

TRY 2021 ステージ 1

目標

500
億円

予想

390
億円

実績

368.9
億円

17.5%

実績

328.5
億円
17.0%

実績

330.8
億円
15.3%

実績

325.7
億円

14.4%

ROE15%

東証一部へ

'13年3月期 '14年3月期 '15年3月期 '16年3月期 '17年3月期 '18年3月期

次の成長に向けた「事業」への投資

- ✓ **ジャパン・カレントを設立**（2015年5月）
デジタルマーケティングサービス事業へ進出
- ✓ **Dynatrace製品の日本における総代理店**（2015年4月）
アプリケーションパフォーマンス管理（APM）市場への本格参入
- ✓ **ネットエージェントを子会社化**（2015年4月）
自社ブランド製品の開発

当社の財産「人」への投資

✓ 積極的な採用

2015年4月新卒採用（連結）：64名

2016年4月新卒採用（連結）：86名

✓ 処遇改善

2015年4月ベースアップ：約4.0%

2016年4月ベースアップ：約2.5%

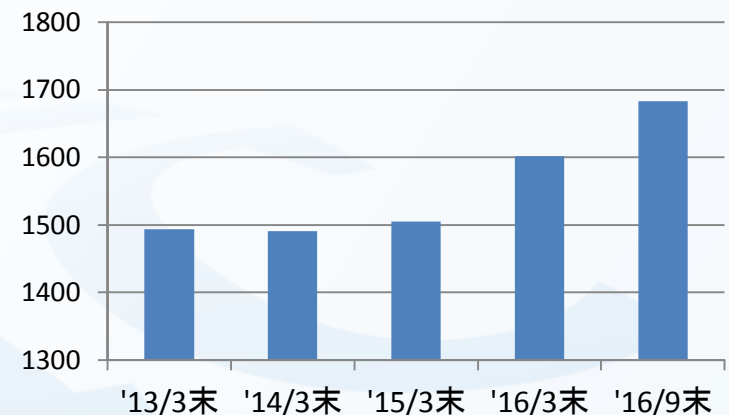
株式給付信託制度導入（2016年9月）

✓ 人材育成

ラック独自のセキュリティ技術者育成プログラム

DB、PMP等資格取得支援

従業員数[連結]



1. 中期経営計画『TRY 2021 ステージ1』 における位置づけ

2. 2017年3月期 2Q決算概要

3. 2017年3月期 連結業績予想

5月11日公表の連結業績予想から変更ありません

微増収ながら減益となるも、 引き続き好調なSSS事業の伸長により、 営業利益は計画を上回る

売上高

マイナス金利政策の影響から金融機関のIT投資が抑制されるなか、SIS事業が減収となるも、サイバーセキュリティ対策への需要は一層増加し、SSS事業が大幅増収となり、0.6%の微増収となる

営業利益

積極的な新卒採用など労務費の増加により、営業利益は17.4%の減益となるも計画は上回る *

親会社株主に帰属する 四半期純利益

経常利益の減少に加え、前年同期にあった特別利益がなくなったことなどにより、27.7%の減益となる

* 当社の業績は売上高・利益が下期偏重となる傾向にあり、当期も引き続き、前期よりスタートした中期経営計画に基づく投資による固定費の増加により、特に上期に利益面で影響を受ける計画となっています。

前年同期比

(百万円)

科目	'16年3月期	'17年3月期	前年同期比増減		
	2Q累計実績	2Q累計実績	差異	率(%)	主な要因
売上高	17,126	17,228	+101	+0.6	【売上高】 ・ SSS事業の増収 (+916M) (全サブセグメントが増収) ・ SIS事業の減収 (△814M) (IT保守サービス、ソリューションサービスは増収となるも、開発サービス、HW/SW販売の減収を補えず)
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	3,670	4,586	+916	+25.0	
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	13,456	12,641	△814	△6.1	
営業利益	660	545	△115	△17.4	【営業利益*】 ・ 売上総利益の増加 (+195M) ・ 販管費の増加 (△310M) (微増収なるも人的投資などの経費増を吸収できず)
営業利益率%	3.9	3.2	△0.7p	-	
経常利益	608	486	△121	△19.9	
親会社株主に帰属する四半期純利益	289	209	△80	△27.7	【親会社株主に帰属する当期純利益*】 ・ 営業利益の減少 (△115M) ・ 持分法による投資損失の増加 (△11M) ・ 特別利益の減少 (△24M)
1株当たり四半期純利益(EPS)	11円42銭	8円26銭	△3円16銭	△27.7	
1株当たり配当金 (2Q期末)	7円	8円	+1円	+14.3	

* () カッコ内の数値は利益額の増減を表します。

予想比

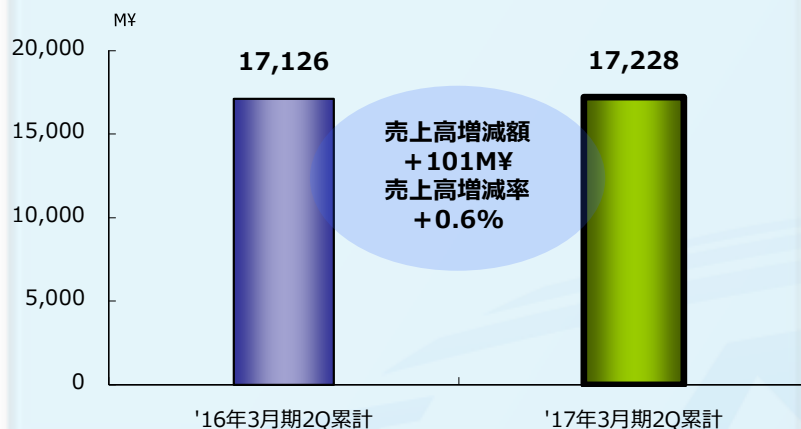
(百万円)

科目	'17年3月期	'17年3月期	予想比増減		
	2Q累計予想	2Q累計実績	差異	率(%)	主な要因
売上高	17,840	17,228	△611	△3.4	【売上高】 ・ SSS事業の予想比増 (+136M) →コンサルティングサービス (+47M) 診断サービス(△55M) 運用監視サービス(+32M) 製品販売 (+28M) 製品保守 (+83M) ・ SIS事業の予想比減(△748M) →開発サービス (△657M) HW/SW販売 (△390M) IT保守 (+592M) ソリューションサービス (△293M)
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	4,450	4,586	+136	+3.1	
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	13,390	12,641	△748	△5.6	
営業利益	515	545	+30	+5.9	
営業利益率%	2.9	3.2	+0.3p	-	
経常利益	480	486	+6	+1.5	【営業利益*】 ・ 売上総利益は予想比減 (△54M) ・ 販管費は予想を下回る (+84M)
親会社株主に帰属する四半期純利益	230	209	△20	△8.8	
1株当たり四半期純利益(EPS)	9円07銭	8円26銭	△0円81銭	△8.8	
1株当たり配当金 (2Q期末)	8円	8円	-	-	

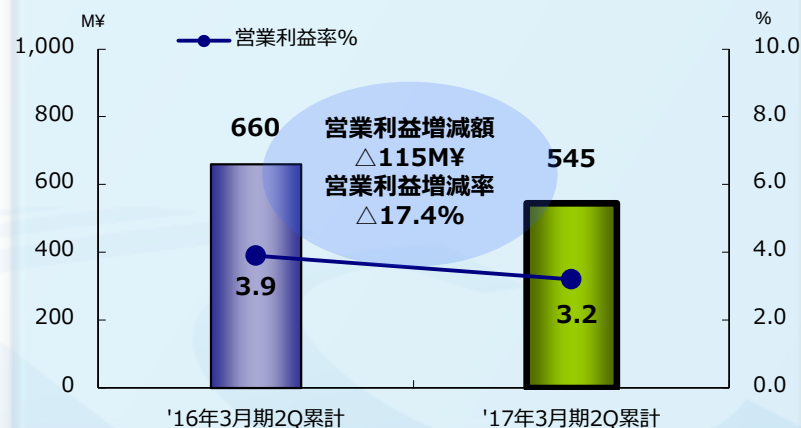
* () カッコ内の数値は利益額の増減を表します。

前年同期比

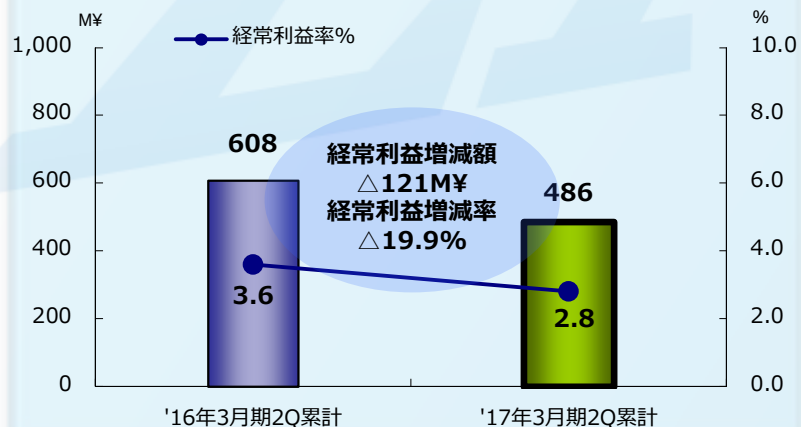
売上高



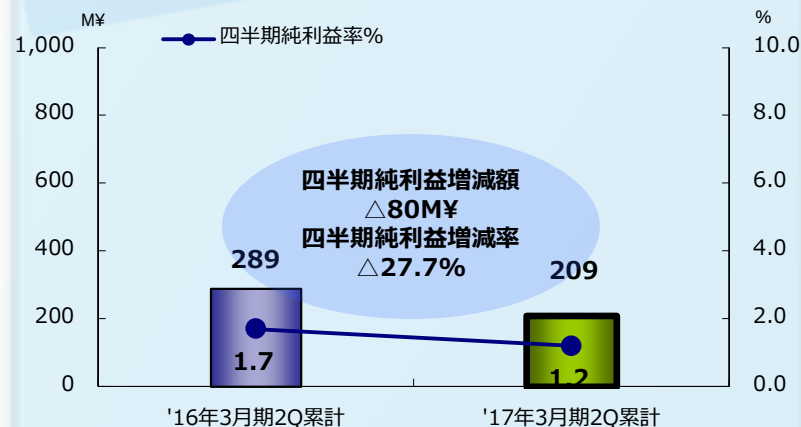
営業利益



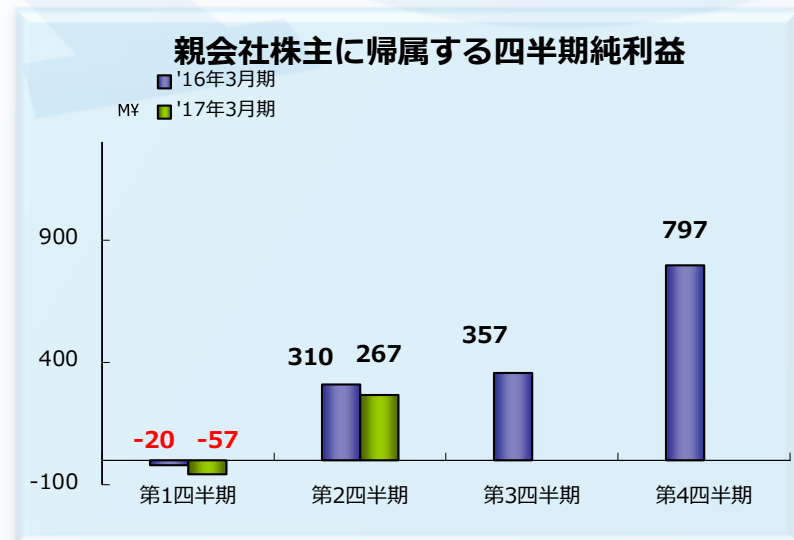
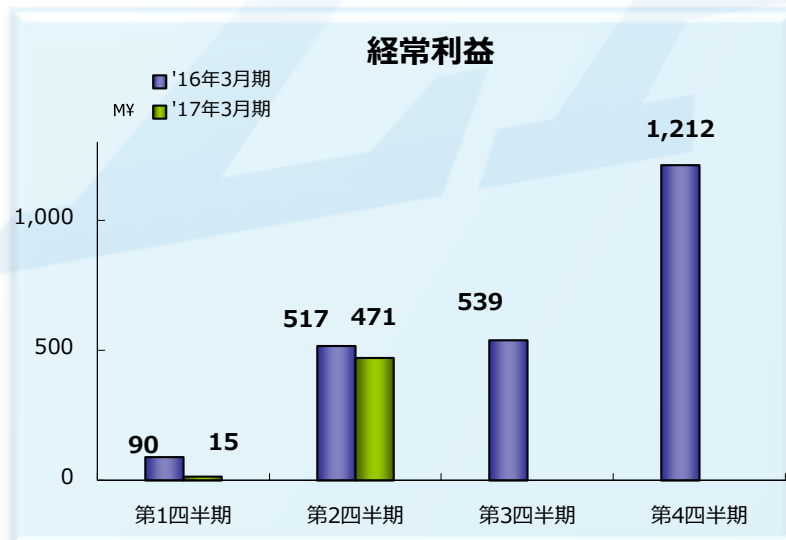
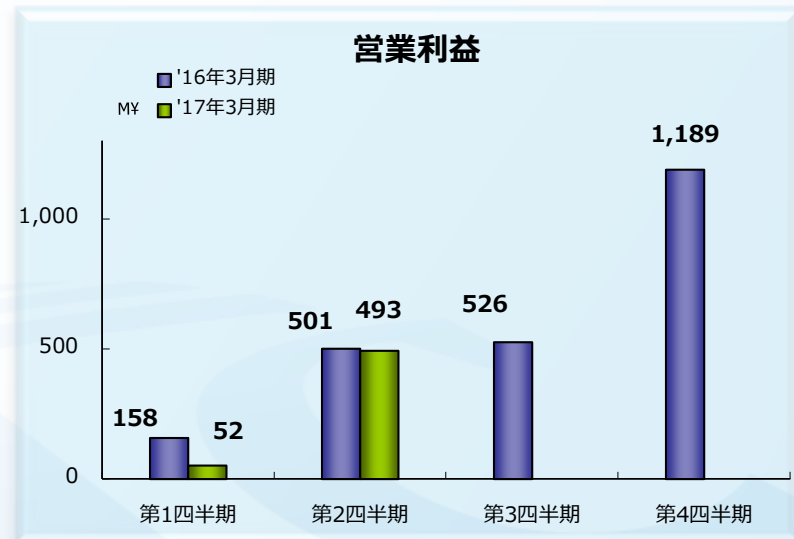
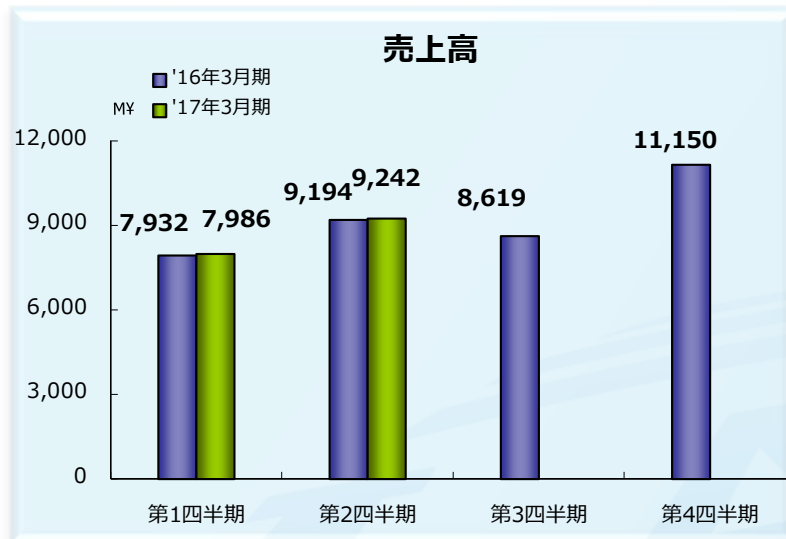
経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



前期比[四半期比較]



連結貸借対照表ハイライト



前期末比

(百万円)

科目	'16年3月期末	'17年3月期 2Q末	前期末比増減	
			差異	主な要因
流動資産	12,882	12,379	△502	【流動資産】 ・ 現金及び預金の減少 (△247M) ・ 受取手形及び売掛金の減少 (△1,101M) ・ 仕掛金の増加 (+284M) ・ 前払費用の増加 (+531M)
固定資産	4,918	4,525	△393	
資産合計	17,800	16,904	△896	
流動負債	7,832	7,211	△620	【固定資産】 ・ のれん (△266M)
固定負債	1,251	1,084	△167	
負債合計	9,084	8,296	△787	【流動負債】 ・ 未払法人税等の減少 (△218M) ・ 前受収益の増加 (+331M) ・ 「その他」に含まれる未払金の減少 (△457M)
純資産合計	8,716	8,608	△108	
現預金	4,609	4,361	△247	【固定負債】 ・ 長期借入金の減少 (△249M)
有利子負債	1,922	1,692	△229	
自己資本比率	48.7%	50.8%	+2.1p	【純資産】 ・ 期末配当などによる利益剰余金の減少 (△69M)

連結キャッシュ・フロー計算書ハイライト

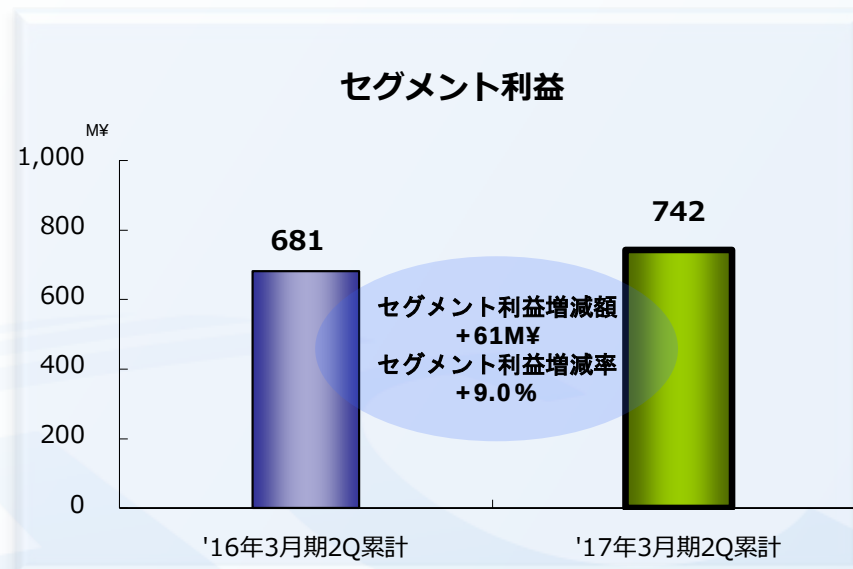
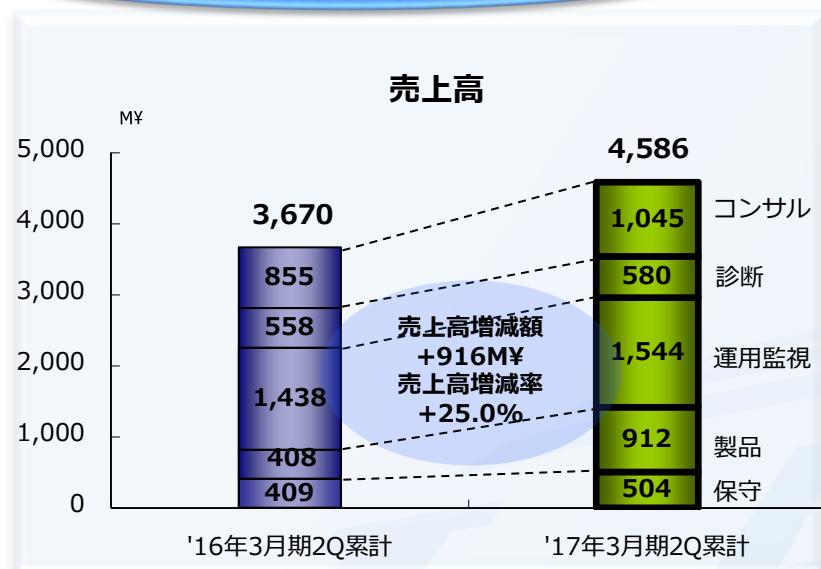


前年同期比

(百万円)

科目	'16年3月期 2Q累計実績	'17年3月期 2Q累計実績	前年同期比
			主な内容
営業活動によるキャッシュ・フロー	△320	611	【営業C/F】 ・ 税前三半期純利益 486M ・ 減価償却費 333M ・ のれん償却額 266M ・ 売上債権の減少額 1,096M ・ たな卸資産の増加額 △263M ・ その他流動資産の増加額 △680M ・ 法人税等の支払額 △403M
投資活動によるキャッシュ・フロー	△508	△278	【投資C/F】 ・ 有形固定資産の取得による支出 △136M ・ ソフトウェアの取得による支出 △96M ・ 投資有価証券の取得による支出 △55M
財務活動によるキャッシュ・フロー	△520	△568	【財務C/F】 ・ 長期借入金の返済による支出 △267M ・ 自己株式の売却による収入 449M ・ 自己株式の取得による支出 △449M ・ 配当金の支払額 △277M
フリーキャッシュ・フロー	△829	333	
現金および現金同等物の増減額（△は減少）	△1,363	△247	
現金および現金同等物期首残高	4,803	4,609	
現金および現金同等物期末残高	3,439	4,361	
時価ベースの自己資本比率（%）	222.4	154.1	
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（%）	－	138.4	
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	－	113.6	

前年同期比：SSS事業



【SSS事業総括】

- 標的型攻撃に代表される事件が相次ぐなか、**セキュリティ対策への意識が一層高まる**
- 各企業・団体におけるサイバーセキュリティ事故対応チーム「CSIRT」の組織化への動きが加速
- 高度な技術と経験を持つ専門家による**本格的なセキュリティ対策へのニーズ**を的確にとらえる
- 人件費の増加や子会社の営業損失の計上などを**増収効果で吸収し増益**

前年同期比：SSS事業

【サブセグメント別売上】

◆セキュリティコンサルティングサービス

- CSIRT構築支援や体験型インシデントレスポンス教育（演習）などへのニーズが高まる
- S I S 事業からの要員シフト、戦略パートナーとの協業推進など受注体制を強化
- 製品活用によるコンサルティングサービスの対応領域の拡大、効率化を推進

22.2%

◆セキュリティ診断サービス

- S I S 事業からの要員シフト、戦略パートナーとの協業推進など受注体制を強化
- 擬似的な標的型メール攻撃による体験学習型教育「ITセキュリティ予防接種」の受注も好調

3.9%

◆セキュリティ運用監視サービス

- 高度で広範囲なセキュリティ対策を望む顧客向け高付加価値サービスの受注が増加
- 情報漏えいチェックサービスの受注が順調に推移

7.4%

◆セキュリティ製品販売

- DDos攻撃をはじめサイバー攻撃に対応する高度な機能を備えた最先端製品の受注が増加
- 自社開発のセキュリティ監視エンジン「LAC Falcon®（ラック ファルコン）」の販売

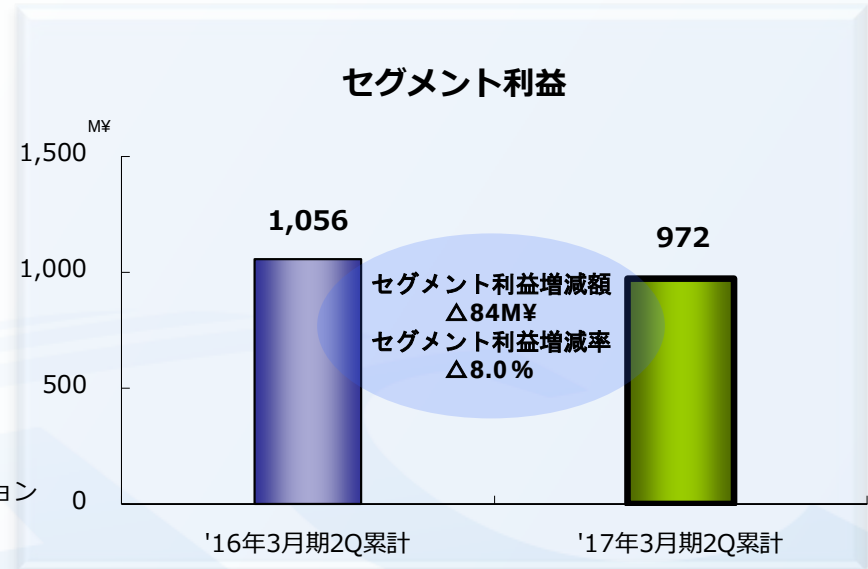
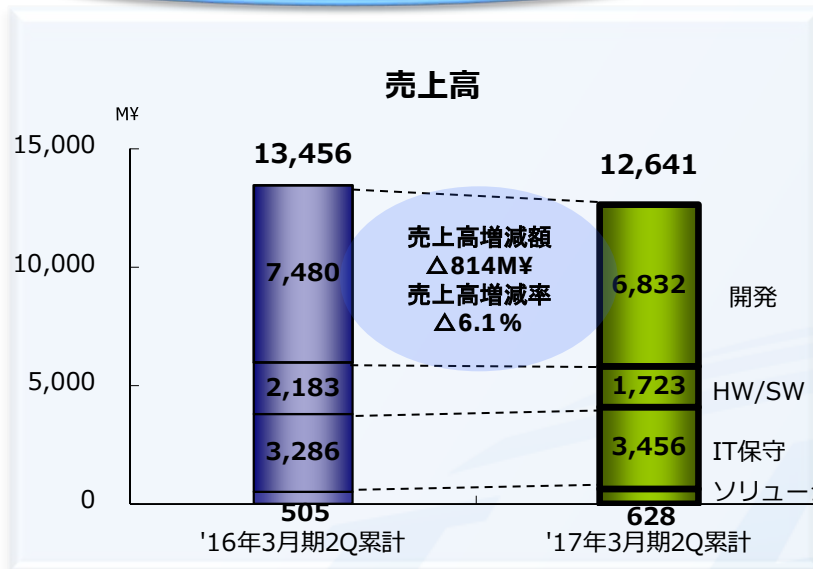
123.4%

◆セキュリティ保守サービス

- 既存の更新案件に加え新規案件の受注が拡大

23.2%

前年同期比：SIS事業



【S I S事業総括】

- マイナス金利政策の影響から、**金融機関のIT投資には縮小・抑制の動きが顕在化**
- 人材派遣業、カード業、旅行業向けなど既存顧客からの**継続案件は好調に推移**
- S S S事業との**連携強化**による**総合力を生かした複合ビジネスの推進**
- **大型案件の減少**による減収に加え、人員増強など**労務費の増加**により**減益**

前年同期比：SIS事業

【サブセグメント別売上】

◆開発サービス

- 前年同期にあったメガバンク向け特需や公共向け大型案件の反動減
- マイナス金利政策の影響から、主力の金融業向け案件が減少
- 人材派遣業やカード業、旅行業向けなど既存顧客からの継続案件は好調に推移
- 減収となるも、比較的利益率の高い中規模案件の受注増加により利益率は向上



Δ8.7%

◆HW／SW販売

- クラウドサービスの活用など、IT投資に対する選択肢の多様化を背景に案件の減少や小型化が進行
- 開発サービス同様、マイナス金利政策の影響から金融機関向け案件が減少



Δ21.1%

◆IT保守サービス

- 前期の堅調なHW／SW販売に加え、金融機関の営業店舗向け機器更改案件が寄与



5.2%

◆ソリューションサービス

- APMの販売はニーズの高まりを受け堅調に推移、販売加速に向けパートナーを含めた体制整備に注力
- 自治体向けシステム更新案件などの受注は堅調に推移



24.3%

セグメント別業績ハイライト

前年同期比

(百万円)

売上高	'16年3月期		'17年3月期		前年同期比	
	2Q累計実績	構成比%	2Q累計実績	構成比%	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	3,670	21.4	4,586	26.6	+916	+25.0
セキュリティコンサルティングサービス	855	5.0	1,045	6.1	+189	+22.2
セキュリティ診断サービス	558	3.3	580	3.4	+21	+3.9
セキュリティ運用監視サービス	1,438	8.3	1,544	8.9	+105	+7.4
セキュリティ製品販売	408	2.4	912	5.3	+504	+123.4
セキュリティ保守サービス	409	2.4	504	2.9	+94	+23.2
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	13,456	78.6	12,641	73.4	△814	△6.1
開発サービス	7,480	43.6	6,832	39.6	△648	△8.7
HW／SW販売	2,183	12.8	1,723	10.0	△460	△21.1
I T 保守サービス	3,286	19.2	3,456	20.1	+170	+5.2
ソリューションサービス	505	3.0	628	3.7	+123	+24.3
合計	17,126	100.0	17,228	100.0	+101	+0.6

セグメント別業績ハイライト

前年同期比

(百万円)

セグメント利益	'16年3月期	'17年3月期	前年同期比	
	2Q累計実績	2Q累計実績	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	681	742	+61	+9.0
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	1,056	972	△84	△8.0
消去又は全社 (調整額、その他)	△1,077	△1,169	△92	－
合計	660	545	△115	△17.4

主なニュースリリース／お知らせ[2Q]



2Q [2016年7月～9月]

2016/09/29	第三者割当による自己株式の処分完了に関するお知らせ
2016/09/27	ラック、アイビーシーとアプリケーションパフォーマンスソリューション管理で販売協業
2016/09/20	ラック、KDDIの「グローバルITガバナンスソリューション」へセキュリティサービスを提供 ～海外進出する国内企業のITガバナンス確立を独自のセキュリティ対策で支援～
2016/09/13	株式給付信託制度の導入（詳細決定）に関するお知らせ 従業員向け株式給付信託制の導入（詳細決定）に関するお知らせ 第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ グローバルIoTテクノロジーベンチャーズ株式会社の第三者割当増資引受に関するお知らせ
2016/09/01	ラック、大規模標的型攻撃事案への迅速な対応に向け、端末情報収集・解析ツールを開発 ～本日創刊の情報誌「CYBER GRID JOURNAL Vol.1」に、技術概要を掲載～
2016/08/29	株式給付信託の信託契約日等の変更に関するお知らせ
2016/08/04	グループ会社のプレスリリース発信に関するお知らせ（子会社 ネットエージェント株式会社） 自動運転時代を見据え、自動車セキュリティ検査サービスの提供を開始 ～情報化が急速に進む自動車のセキュリティ品質を高め、自動車利用者の安全に寄与～
2016/08/03	平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結） 第1四半期決算説明資料
2016/08/02	ラック、追いつけた「Daserf」の実態レポート「日本の重要インフラ事業者を狙った攻撃者」を公開 ～日本の重要インフラ事業者を執拗に狙う攻撃者の手法と、プロファイリングを技術情報にまとめて提供～
2016/07/27	組織変更および人事異動に関するお知らせ
2016/07/01	支配株主等に関する事項について

主なニュースリリース／お知らせ[1Q]



1Q [2016年4月～6月]

2016/06/29	人事異動に関するお知らせ
2016/06/21	従業員向け株式給付信託の導入に関するお知らせ
2016/06/17	ラック、2年連続で「フロスト&サリバン ジャパンエクセレンスアワード」を受賞
2016/06/13	子会社等役員の異動に関するお知らせ
2016/06/09	ラック、組織の対外情報発信におけるリスク分析を支援する製品の取り扱い開始
2016/06/06	ラック、サイバー保険の代理店業務を開始
2016/05/13	匿名FTPサーバで重要情報が公開されていることへの注意喚起
2016/05/11	平成28年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結） 決算説明資料 定款一部変更に関するお知らせ 補欠監査役の選任に関するお知らせ 株式給付信託導入に関するお知らせ
2016/05/10	ラック、SOMPO リスケアマネジメントと協力し、セキュリティ研修サービスを提供
2016/04/25	人事異動に関するお知らせ
2016/04/19	ラック、新潟県のサイバー犯罪対策支援のため、新潟県警と共同対処協定を締結

1. 中期経営計画『TRY 2021 ステージ1』
における位置づけ

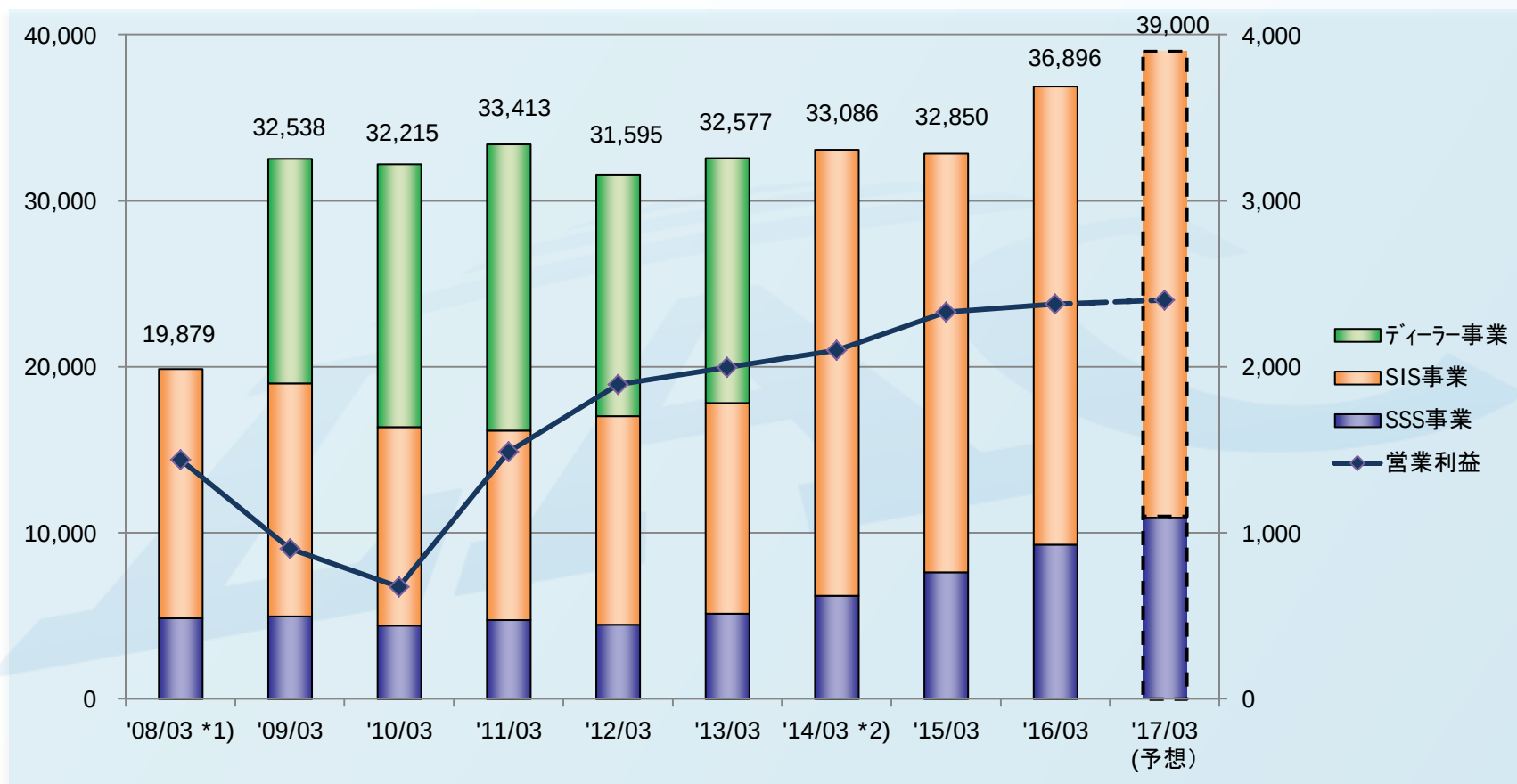
2. 2017年3月期 2Q決算概要

3. 2017年3月期 連結業績予想

5月11日公表の連結業績予想から変更ありません

業績の推移

前期、売上高は5期ぶりに過去最高更新、営業利益は6期連続最高益更新中



*1) 旧ラックとA&Iの経営統合初年度である'08年3月期の業績には、旧ラックが決算期を12月から3月に変更したことから旧ラックは'07年1月1日～'08年3月31日までの15ヶ月決算を反映していますが、本資料では、同一期間で比較するため'07年1月1日から'07年3月31日までの旧ラックの個別業績(売上高2,019百万円、営業利益329百万円)を差し引き、1年換算とした場合の想定実績で記載しています。

*2) 事業セグメントの変更は'15年3月期からですが、セグメント別の業績を比較するため、その前年度である'14年3月期も同条件で組み替えた場合の想定実績で記載しています。

連結業績予想（通期）



前期比

（百万円）

科目	'16年3月期	'17年3月期	前期比増減	
	通期実績	通期予想	差異	率(%)
売上高	36,896	39,000	+2,103	+5.7
セキュリティソリューション サービス（SSS）事業	9,301	11,000	+1,698	+18.3
システムインテグレーション サービス（SIS）事業	27,594	28,000	+405	+1.5
営業利益	2,377	2,400	+22	+1.0
営業利益率%	6.4	6.2	△0.2p	-
経常利益	2,360	2,380	+19	+0.8
親会社株主に帰属する当期純利益	1,444	1,470	+25	+1.7
1株当たり当期純利益(EPS)	56円94銭	57円94銭	+1円00銭	+1.8
1株当たり配当金	18円	18円	0円	-

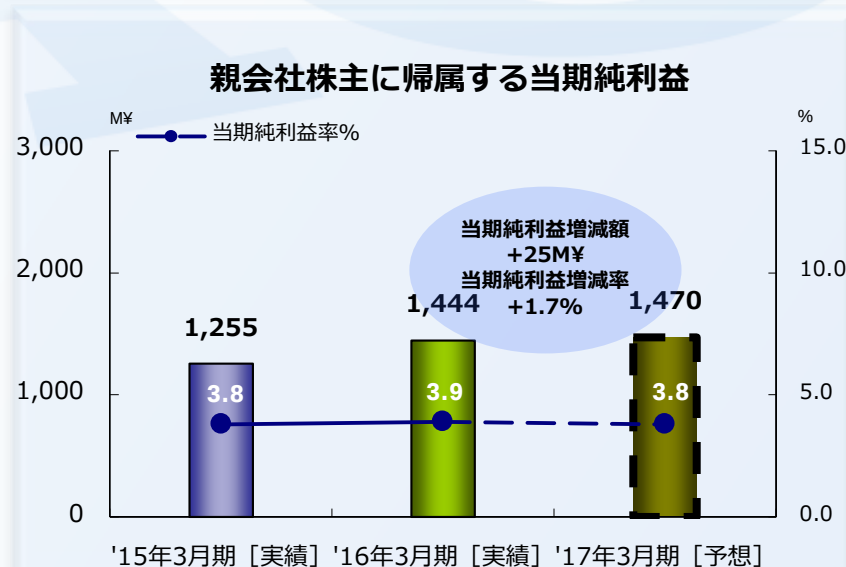
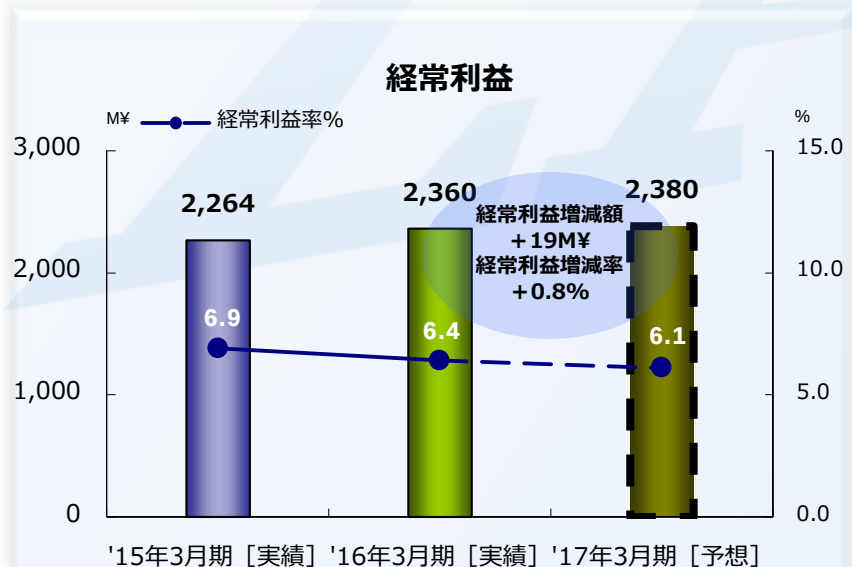
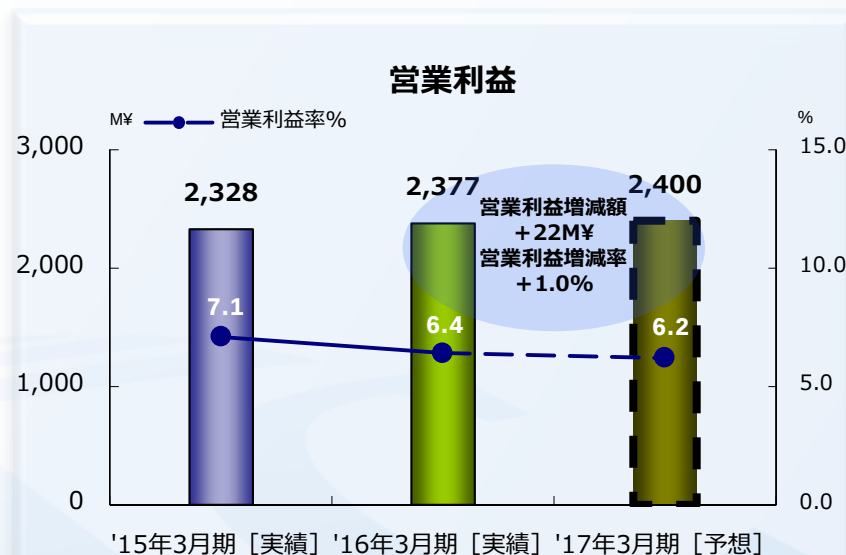
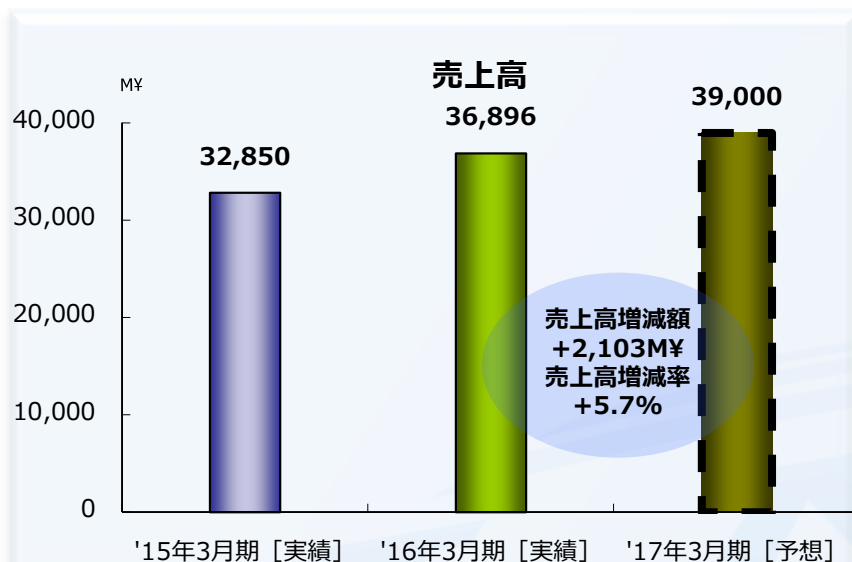
【売上予想】

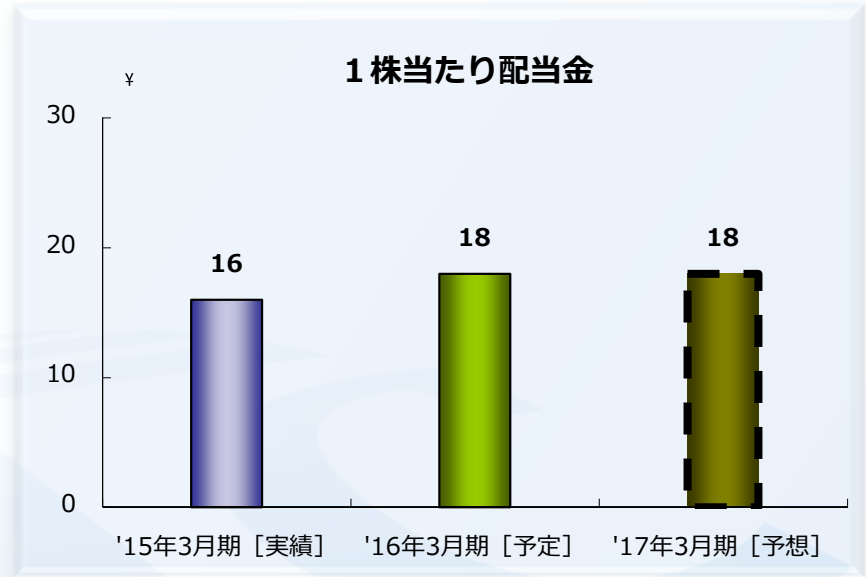
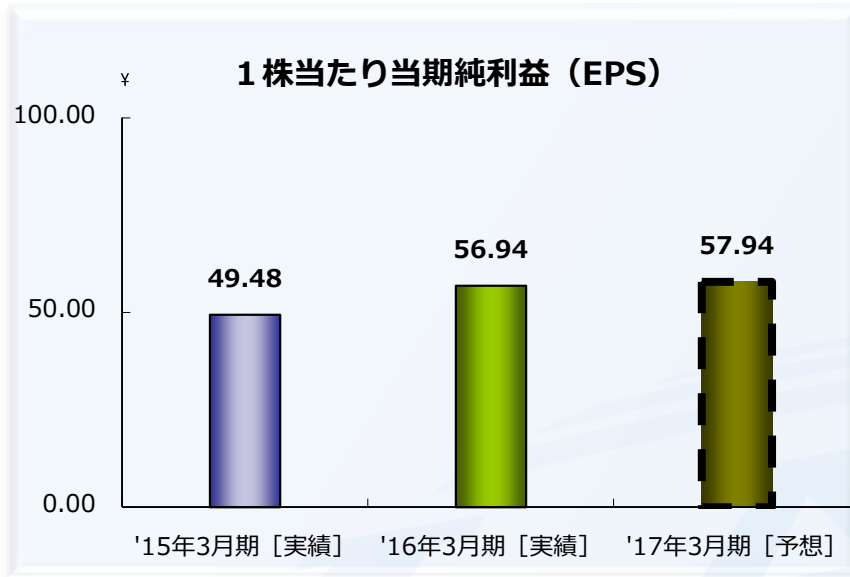
中期経営計画『TRY 2021 ステージ 1』の2年目である2017年3月期は、引き続き売上高拡大に向け、セキュリティ需要の拡大や金融関連を中心とするIT投資を背景に既存事業の拡大を図り、両事業ともに増収を見込む。

【営業利益予想】

引き続き次なる成長を加速するための投資や新たなチャレンジのフェーズと認識し、人員の増強や新規ビジネスの強化・拡充への取り組みに伴うコスト増などにより、前期並みを見込む。

* 予算策定時に好調が続くものと想定していた金融機関のIT投資は、マイナス金利政策の影響から縮小・抑制される動きもみられ、金融機関からの受注の減少が想定されるなか、金融以外の分野での受注獲得で補完すべく取組む。





セグメント別業績予想

売上高/セグメント利益

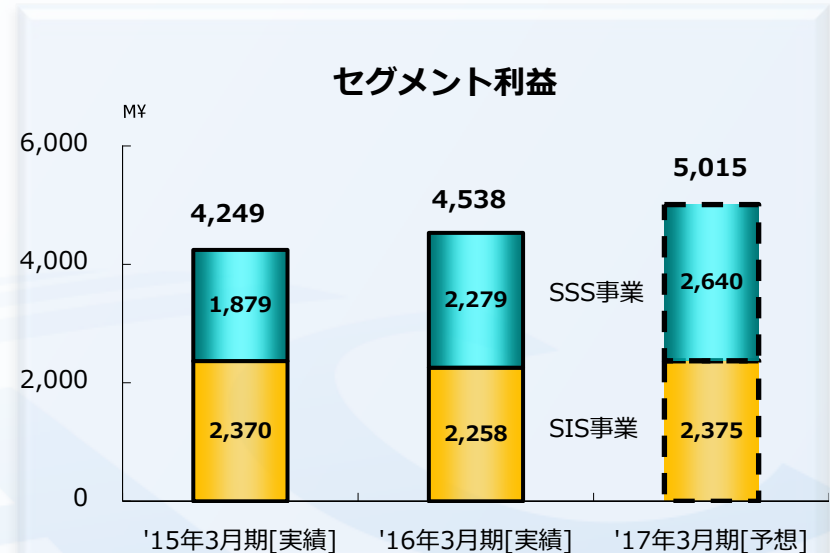
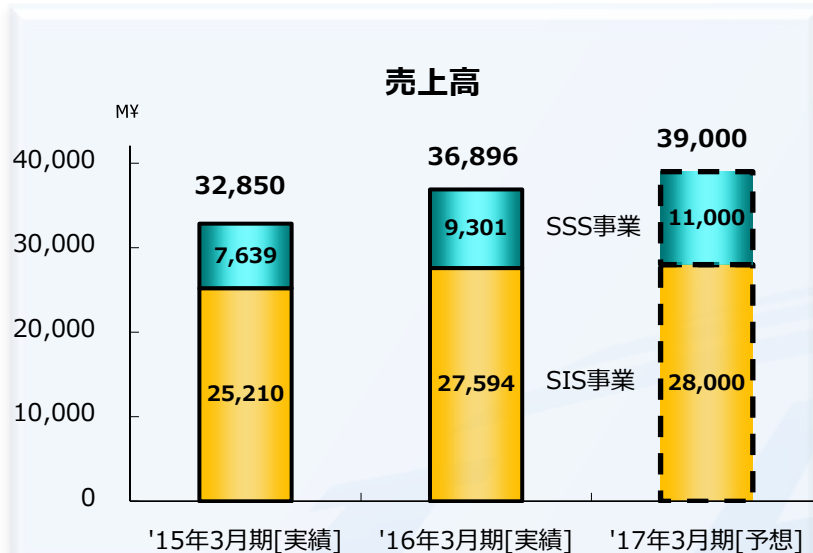
(百万円)

売上高	'16年3月期	'17年3月期	前期比	
	通期実績	通期予想	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	9,301	11,000	+1,698	+18.3
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	27,594	28,000	+405	+1.5
合計	36,896	39,000	+2,103	+5.7

(百万円)

セグメント利益	'16年3月期	'17年3月期	前期比	
	通期実績	通期予想	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	2,279	2,640	+360	+15.8
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	2,258	2,375	+116	+5.2
消去又は全社 (調整額)	△2,161	△2,615	△454	-
合計	2,377	2,400	+22	+1.0

売上高/セグメント利益



*セグメント利益：消去又は全社調整前の利益

セグメント別業績予想



サブセグメント別売上高

(百万円)

売上高	'16年3月期		'17年3月期		前期比	
	通期実績	構成比%	通期予想	構成比%	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	9,301	25.2	11,000	28.2	+1,698	+18.3
セキュリティコンサルティングサービス	2,162	5.9	2,410	6.2	+247	+11.4
セキュリティ診断サービス	1,601	4.3	1,760	4.5	+158	+9.9
セキュリティ運用監視サービス	3,195	8.7	3,590	9.2	+394	+12.3
セキュリティ製品販売	1,452	3.9	2,340	6.0	+887	+61.1
セキュリティ保守サービス	889	2.4	900	2.3	+10	+1.2
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	27,594	74.8	28,000	71.8	+405	+1.5
開発サービス	15,388	41.7	15,900	40.8	+511	+3.3
HW／SW販売	4,101	11.1	4,650	11.9	+548	+13.4
I T保守サービス	6,686	18.1	5,320	13.6	△1,366	△20.4
ソリューションサービス	1,419	3.8	2,130	5.5	+710	+50.1
合計	36,896	100.0	39,000	100.0	+2,103	+5.7

- ・セキュリティ製品販売は、子会社の既存製品の拡販に加え、需要拡大が見込まれるSAAS型ソリューションの販売で前期比61.1%の大幅増収と予想
- ・I T保守サービスは、現行機種更改に伴う保守契約の見直しを想定し前期比20.4%の減収と予想

LAC
supports your  business

*We provide IT total solutions
based on advanced security technologies.*



- ※ 本資料は2016年11月現在の情報に基づいて作成しており、記載内容は予告なく変更される場合があります。
- ※ LAC、ラック、JSOC、サイバー救急センターは株式会社ラックの登録商標です。
- ※ その他記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

株式会社ラック

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-16-1
平河町森タワー

Tel 03-6757-0107 Fax 03-6757-0101

ir@lac.co.jp

www.lac.co.jp